

平成19年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

平成19年6月9日(土)

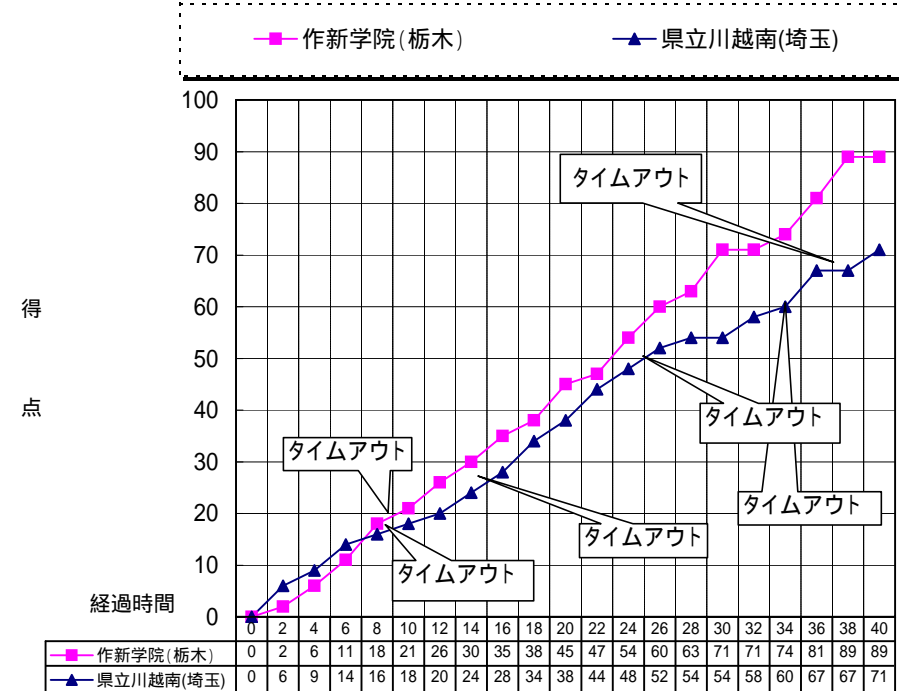
【女子】1回戦 鐘山スポーツセンター総合体育館 Dコート 第1試合

作新学院(栃木)	89	$\left. \begin{array}{l} 21 - 18 \\ 24 - 20 \\ 26 - 16 \\ 18 - 17 \\ \dots \end{array} \right\} 71$	県立川越南(埼玉)
----------	----	---	-----------

作新学院(栃木)		コーチ 渡邊 諭														
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリーシュート		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	小川由希	10	0	0	5	10	0	2	2	4	5	9	3	3	1	3
5*	久谷央	25	1	7	8	12	6	9	3	5	1	6	4	1	0	5
6	関口千尋	8	0	1	3	10	2	3	1	1	3	4	4	1	0	2
7*	大坪友紀	7	0	0	3	8	1	2	1	4	1	5	0	0	0	0
8	黒崎唯里	17	1	2	3	5	8	14	1	1	2	3	2	6	1	2
9	五十嵐由貴	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
10	坂本七瀬	2	0	0	1	2	0	4	0	2	1	3	0	0	0	0
11*	松本麻紀	9	0	0	2	5	5	6	1	0	1	1	2	1	1	0
12*	鳩貝望	9	1	2	3	8	0	0	1	1	0	1	1	2	0	0
13	高橋春奈	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
14	砂川彩華															
15	三宅彩香															
16	大内瑠華															
17	吉原絵里子	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
18	柴田智広	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チーム										6	0	6				1
		89	3	14	28	63	24	40	10	25	16	41	17	14	3	13
			成功率		44.4%		60.0%									

県立川越南(埼玉)		コーチ 坂 佳 憲														
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリーシュート		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	田道あさみ	19	0	3	8	14	3	8	5	7	5	12	3	1	1	6
5*	横山友美	21	0	0	10	15	1	3	4	16	4	20	2	1	4	3
6*	千葉真純	2	0	2	1	5	0	0	5	1	0	1	0	1	1	2
7	伊藤千紜	4	0	3	2	2	0	0	2	1	0	1	3	1	0	6
8*	黒川あずさ	13	1	4	5	9	0	0	4	2	0	2	3	2	1	2
9*	高原沙織	8	0	1	4	4	0	0	5	1	0	1	2	1	0	4
10	梅原夏織	2	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
11	佐土原真子	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
12	酒井奈緒美	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	1
13	山崎美紗子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	磯野友里絵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	武藤加那子	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
16	岡本真依	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
17	齋藤亜紀子	2	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
18	齋藤希鈴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チーム										4	0	4				1
		71	1	14	32	57	4	12	27	38	9	47	14	7	7	32
			成功率		56.1%		33.3%									

2分毎による得点の推移



戦評

1Qは両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、田道のアウトサイドシュートなどで得点した川越南がリード。作新はシュートインの後のオールコートマンツーマンプレスが徐々に効果を発揮し、鳩貝の3Pで同点。小川、久谷が加点し、21-18と逆点して1Qを終える。2Qに入っても作新のオールコートマンツーマンが相手のミス誘い、残り5分までに10点差とする。しかし、川越南も2Qから始めていたオールコートプレスが効果を出し始め、残り2分で38-34の4点差とする。前半は45-38作新リードで終了。後半に入って、川越南は横山、高原が連続得点し42-45と3点差まで詰め寄る。しかし、作新のディフェンスはまたもチームに勢いを与え、残り4分で10点差にリードを広げる。川越南はディフェンスを2-2-1のゾーンプレスに切り替えるなど、巻き返しを図るが、作新の久谷、黒崎などが落ち着いていたゲーム作りをしてリードを保つ。3Q終了間際、連続得点していた川越南、田道がファウルアウト、最終的に71-54作新学院リードで3Qが終る。4Qに入ってファウルが重なった川越南、千葉、高原がファウルアウトしてしまい、ペースを失った川越南は得点を伸ばせない。

一試合を通して、粘り強くディフェンスをした作新学院が89-71と勝利を収めた。

主審 丸山 淳 (山梨)

副審 古屋 勝規 (山梨)

記入者 河西 寛之 (高体連)